

7) 肝細胞における脂肪酸 β 酸化能を規定する遺伝子の SNP と PBC に対する bezafibrate 療法

高知大学・消化器病態学

西原 利治

8) PBC における PPAR α と Catalase の発現

国立病院機構長崎医療センター

・臨床研究センター

伊東 正博

9) 自己免疫疾患自然発症モデル MRL/lpr マウスを用いた PPAR γ リガンド投与による
抗炎症効果の検討

金沢大学大学院・形態機能病理学

原田 憲一

15:45 - 16:10 集合写真, 休憩

16:10 - 16:15 事務連絡

会計班長

金子 龍也

16:15 - 17:00

III. 胆管障害とその修復(2)

座長

中沼 安二

10) PBC における胆管障害の heterogeneity とその意義

九州大学大学院・形態機能病理学

恒吉 正澄(相島 慎一)

11) 胆管炎モデルマウスを用いた胆管細胞のプロテオーム解析

東北大学大学院・消化器内科学

上野 義之

12) ヒト肝内胆管細胞の再生及び管腔形成に関する基礎的検討

国立病院機構長崎医療センター

・臨床研究センター

小森 敦正

17:00 - 17:45

IV. 免疫(1)

座長

喜多 宏人

13) PBC 動物モデルを用いた胆道炎発症機序の解析および治療法の開発

鹿児島大学大学院医歯薬学総合研究科

・発生発達生育学

松口 徹也

14) PBC 肝組織での TLR4 の発現

国立病院機構長崎医療センター

・臨床研究センター

右田 清志

15) Toll-like receptor を介した免疫応答の PBC 病態への関与

順天堂大学・消化器病学

市田 隆文

/ 新潟大学・第三内科

(山際 訓)

追加) PBC における高 IgM 血症: 自然免疫との関わりについて

帝京大学溝口病院・第四内科

菊池 健太郎

7月8日(金) 9:00 - 11:30

9:00 - 10:00

IV. 免疫(2)

座長 中村 稔

- 16) Th1/Th2 バランス制御法の開発 インバリアントNKT 細胞亜分画による制御
埼玉医科大学・免疫学 松下 祥
- 17) PBC における画期的治療法の開発
九州大学大学院・病態修復内科学 下田 慎治
- 18) 自己抗原特異的 CD8T 細胞応答とその制御による特異的治療法の開発
自治医科大学・消化器内科 喜多 宏人
- 19) PDC-E2-リポソームを用いた CTL 誘導に関する検討
岡山大学大学院・病態機構学講座(細胞化学分野) 松浦 栄次

10:00 - 10:45

IV 遺伝子解析

座長 金子 周一

- 20) ①genipin (インチンコウトウ) の PBC に対する効果
②PBC における Wnt/b-catenin シグナル伝達経路の関与
帝京大学・内科学 田中 篤
- 21) 肝生検組織の遺伝子解析
国立病院機構長崎医療センター
・臨床研究センター 中村 稔(瀧井 康)
- 22) PBC における発現遺伝子の特徴
金沢大学大学院・がん遺伝子治療学 金子 周一

10:45 - 11:30

V. 肝移植と再生医療

座長 市田 隆文

- 23) 当科における生体肝移植を施行した原発性胆汁性肝硬変症例の検討
長崎大学大学院・移植・消化器外科 兼松 隆之(高槻 光寿)
- 24) 末期肝硬変に対する組み換え型ヒト HGF の臨床応用
— 医師主導型治験への問題点 —
宮崎大学・第二内科 坪内 博仁
/ 京都大学・探索医療センター (井戸 章雄)
- 25) 幹細胞による再生医療
九州大学大学院病態修復内科学 石川 文彦

11:30 - 11:50 全体討論

11:50 閉会

厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業
「難治性自己免疫性肝疾患の画期的治療法の開発に関する臨床研究」

平成17年度 第2回班会議プログラム

期 日 : 平成18年1月26日(木) 13:30
~1月27日(金) 11:50
場 所 : 国立病院機構 長崎医療センター
臨床研究センター会議室

1月26日(木) 13:30 - 18:10

13:30 - 13:45 開会の辞

研究班の総括

主任研究者 石橋 大海

13:45 - 14:30

I. 治療の現状

座長 石橋 大海

1) 自己免疫性肝炎治療の現状と予後について

国立病院機構相模原病院・消化器科

渡部 幸夫

2) 原発性胆汁性肝硬変に対する治療方針の現状把握のための調査:第2報 -肝臓学会評議員
(西部会・東部会)に対するアンケート調査-

国立病院機構九州医療センター・消化器科

酒井 浩徳

3) Hepatic fatty acid metabolism in vivo imaging を用いたUDCA治療抵抗性PBC症例に対する
bezafibrate 療法の評価を目指して

高知大学・消化器病態学

西原 利治

14:30 - 15:30

II. 治療の分子標的(1)

座長 若月 芳雄

4) PBC の進展予測におけるIgAクラス抗2-OADC抗体の役割に関する研究

長崎大学第二内科

大曲 勝久

5) PBC の予後予測に基づく分子標的の探索

国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター

中村 稔

6) PBC 進展メカニズムの組織学的解明:胆管消失、線維化、血管構築の破綻について

九州大学大学院・形態機能病理学

恒吉 正澄(相島 慎一)

7) ゲノミクスに基づく難治性自己免疫性肝疾患の病態解析と診断・治療への応用

金沢大学大学院医学系研究科

金子 周一

15:30 - 16:00 集合写真, 休憩

16:00 - 16:10 事務連絡

会計班長 金子 龍也

16:10 - 17:10

III. 動物モデルの開発

座長 金子 周一

8) PBC モデルマウスの作製に関する検討

岡山大学大学院・病態機構学講座(細胞化学分野) 松浦 栄次

9) 慢性腸炎モデルマウスを用いた胆管炎モデルの作製と、胆管炎発症機序の検討

東京女子医科大学・消化器病センター 橋本 悦子(春田 郁子)

10) AMA 産生動物モデルの胆管細胞を用いた網羅的検討

東北大学大学院・消化器病態学 上野 義之

11) PBC動物モデルを用いた胆道炎発症機序の解析および治療法開発

鹿児島大学大学院医歯薬学総合研究科
・発生発達生物学 松口 徹也

17:10 - 18:10

IV. 免疫制御法の開発(1)

座長 喜多 宏人

12) Th1/Th2 バランス制御法の開発 インバリアントNKT 細胞亜分画による制御

埼玉医科大学・免疫学 松下 祥

13) PBC 患者におけるBAFF(B cell activating factor belonging to the tumor necrosis factor family)の異常

国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター 右田 清志

14) PBC 患者におけるTLR9のSNPと高IgM産生能

香川大学・第三内科 木村 泰彦

15) Toll-like receptorを介した免疫応答のPBC病態への関与

順天堂大学・消化器病学 市田 隆文(山際 訓)

1月27日(金) 9:00 - 11:50

9:00 - 9:45

V. 免疫制御法の開発(2)

座長 中村 稔

16) 細胞移入による実験肝炎治療の考察

京都大学大学院医学系研究科

若月 芳雄

17) 原発性胆汁性肝硬変(PBC)における自己抗原(PDC-E2)反応性 T 細胞の免疫制御

九州大学大学院・病態修復内科学

下田 慎治

18) 自己免疫性肝疾患における細胞性免疫応答の解析と治療応用に関する研究

自治医科大学・消化器内科

喜多 宏人

9:45-10:30

VI. 治療の分子標的(2)

座長 中沼 安二

19) PBC における PPAR α と関連分子の発現

国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター

伊東 正博

20) 培養胆管細胞および MRL/lpr マウスの胆管炎に対する PPAR γ リガンドの抗炎症効果

金沢大学大学院・形態機能病理学

原田 憲一

21) ①genipin (インチンコウトウ) の PBC に対する効果

②血清・唾液中 IgA 型 AMA の存在 — 自己抗体と PBC の組織学的進展度との関連—

帝京大学・内科学

田中 篤

10:30 - 11:30

VII. 肝移植と再生医療

座長 市田 隆文

22) 原発性胆汁性肝硬変症例の肝移植後経過と移植後の自己免疫関連病態の検討

長崎大学大学院・移植・消化器外科

兼松 隆之(江口 晋)

23) 末期肝硬変に対する組換えヒト HGF の第 I/II 相治療

— 開発型の医師主導治療としての取り組み —

鹿児島大学大学院歯学総合研究科

坪内 博仁

/ 京都大学・探索医療センター

(井戸 章雄)

24) ヒト肝内胆管細胞の再生分化とその修飾に関する基礎的検討

国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター

小森 敦正

25) 幹細胞と再生医療

理化学研究所 横浜研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター

ヒト疾患モデル研究ユニット

石川 文彦

11:30 - 11:50 全体討論

11:50 閉会